

平和

小学校高学年

中学校

高校

総合

学級活動

NHKスペシャル   65分

きのこ雲の下で 何が起きていたのか

(2015年放送)

この番組の良さ



鮮明に浮かび上がる当日のドラマ

1945年8月6日の広島。原爆投下3時間後、爆心地から2kmの御幸橋で新聞社のカメラマンが撮影した写真が、2枚だけ残っています。その写真を最新技術で分析すると、写っている約50人の中に、火傷で皮膚がむけた人たちや、横たわって死に瀕（ひん）した人たちが確認されました。現場にいた人たちの証言と専門家の分析や監修を基に、写真を3D化し、動きや色を付けました。その映像から、あの日、きのこ雲の下で起きていたことが鮮明に浮かび上がりました。

戦争の無意味さと命の大切さ

番組では、31人の証言と2枚の写真から、70年前にきのこ雲の下で何が起きていたのかに迫っていきます。番組の視聴により、原爆被害の真実や戦争の無意味さ、命の大切さなどについて、深く考えることができます。

番組活用のポイント

既習の知識や教科学習などと関連づけながら横断的に

歴史の学習やさまざまな資料などを通して、原爆の惨状を知る機会が多いと思います。しかし、その壊滅地帯で人々がどのように亡くなり、どのように生き延びたかは明らかになっていません。番組では、写真の解析や証言、医学的な分析などから、きのこ雲の下で起こったことの実実に迫ります。単に原爆の知識として学ぶのではなく、既習の知識や社会科などの教科学習の発展として横断的に扱うとよいでしょう。

修学旅行や平和学習の事前学習として

平和学習を取り入れた修学旅行の事前学習や、社会科見学の事前学習として広島について学ぶときに、本番組の活用が考えられます。数々の証言を聞くことや、CGによって再現された原爆被害の真実を知ること、広島を訪れる際の心構えや見学の視点などをもつことができるでしょう。また、写真が撮影された御幸橋を見学コースに入れることも考えられます。御幸橋には現在、番組で紹介された写真が掲げられています。

命の大切さや人間としての尊厳を見つめる学習で

生と死の境界で撮られた写真。70年経っても人々の記憶から消し去れない深い絶望、生きたいという願いを断ち切られた子供たち、人間の尊厳を奪われながら亡くなっていった人。核兵器や戦争が何をもたらすのか。命の大切さを考える学習で扱うことで、本番組が描く真実は、子供たちに多くのことを問いかけます。

他の番組とあわせて活用することで、さらに学習を深める

ティーチャーズ・ライブラリーには、平和に関する関連番組が多数ラインナップされています。それらと組み合わせることで本番組を活用することでさらに学習が深まります。

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 90分

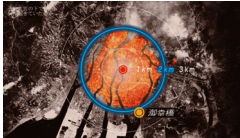

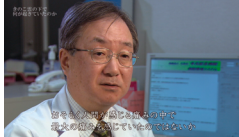


沼津市立内浦小学校
教諭 加納 真

教諭

命の大切さ、人間の尊厳とは？ きのご雲の下の真実から考える

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	<p>①広島や原子爆弾について調べたことや知っていることを発表する。</p> <p>②番組視聴の目的を確認する。</p>	<p>○これまでに学習してきたことや、見学に向けての思いを発表し、番組の内容に結びつける。</p> <p>○原爆について詳しく知るとともに、見学の視点や心構えをもつことを確認する。</p> <p>※被爆の真実をより鮮明に伝えるために、映像や証言の中にリアルで衝撃的な内容がある。発達段階や子供の状況によっては配慮が必要であり、視聴前にその旨を伝えておきたい。</p>
65分	<p>③メモを取りながら番組を視聴する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>視聴 原爆投下から3時間後。2枚の写真は、爆心地から約2kmのところにある御幸橋の上で撮影された。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>「死ぬまで忘れない」と語る河内さん。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>当時13歳だった河内光子さんの証言を基に再現された、赤ちゃんをかかえる少女の様子。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>「坪井はここに死す」と地面に書いた坪井さんの見た光景。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>強烈な熱線で裂けてただれたという皮膚の色を、原田医師の監修で再現する。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>「人間が感じる痛みの中で最大の痛み」と言う原田輝一医師。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>やけどがもたらす壮絶な光景。皮膚がめくれ両手を突き出して歩く、幽霊のような人々。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「命の選別が行われた」という御幸橋。 ・原爆投下当日に亡くなった人の中で最も多かったのは「12～13歳」であったという事実。 ・「自分が生きているのが申し訳ない」という証言。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>アメリカで意図的に公開が制限されたという事実。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○炎で焼かれ深くえぐられた身体を見せながら語る坪井さんの思いを考えさせたい。</p> <p>○終戦後の情報操作やその後の冷戦など、核廃絶が進まない背景について、補足説明する。</p> </div> </div>	